



日耳鼻医学会 F A X ニュース NO 132

平成19年10月30日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimu@jenti.or.jp HP http://www.jenti.or.jp
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

『平成19年度第1回医会長協議会案内』

日時：平成19年11月25日(日)午後0時30分～3時30分
場所：日耳鼻医学会事務所(東京)
議題：後期高齢者医療制度、かかりつけ医(総合医制)に対する耳鼻科の取り組み 他
講演：「後期高齢者医療制度について」
講師：都医師国民健康保険組合事務局長 山口 剛 氏
会議終了後忘年懇親会(会費9000円)を予定しています。

平成19年度第3回全理事会報告(10月14日開催) 報告事項

1. 第32回岐阜フォーラム 参加者306名、懇親会183名。
2. 第33回鳥取フォーラム進捗状況
プログラムも大体固まった。面白い題材を揃える。
3. 平成19年度全国保険情報ネットワーク(第8集)
医療事故や介護保険に重点を置き11月発行予定。
4. ポスター作成に関して 今年も5社が協賛してくれることになった。
5. 日本臨床泌尿器科医学会10周年記念式典(10月7日開催)
清水理事長が出席。他

協議事項

1. 医会長協議会のテーマについて
特に後期高齢者医療制度やかかりつけ医制度に対して各医学会がどのような対応をしているか、予めアンケートを行いそれを予め纏めて医会長協議会で協議することにした。他

特定健康診査・特定保健指導機関に 耳鼻科も参加可能か？

来年度から40歳から74歳の方はメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)予防のために特定健康診査を受けられないといけないことになった。特定健康診査の必須項目は 質問票(服薬歴、喫煙歴など) 身体計測(身長、体重、BMI、腹囲) 理学的検査(身体診察) 血圧測定 血液検査(脂質検査・血糖検査・肝機能検査) 検尿(尿糖、尿蛋白)。詳細な健診の項目は 心電図検査、眼底検査 貧血検査となっている。耳鼻科医でも参加可能であるが、支払基金に届け出が必要。

「メコバラミン」を「ベル麻痺、突発性難聴、反回神経麻痺」に対し審査上認める。

支払基金審査情報提供事例より

末梢性神経障害治療剤メコバラミン【内服薬・注射薬】原則として、「メコバラミン」を「ベル麻痺、突発性難聴、反回神経麻痺」に対し処方した場合、当該使用事例を審査上認める。審査上認める根拠：薬理作用(補酵素作用)が同様と推定される。平成19年9月21日新規
(<http://www.ssk.or.jp/sinsa/yakuzai/>)

診療所開設者の年収は必ずしも高くない

日医の中川常任理事は、10月10日の定例記者会見で日医が実施した「診療所開設者の年収に関する調査」(2006年分)の結果を公表した。調査は急を要することもあり、北海道札幌市、東京都板橋区、山口県、鹿児島県に地域を限定し、個人立診療所の開設者を対象として行われ、有効回答数は537(有効回答率は35.1%)であった。

それによると、個人立診療所開設者の年収を勤務医師やサラリーマンと比較可能なように「手取り年収」で試算したところ、平均で1,070万円、最も高い55から59歳

でも1,470万円であり、この平均値は中小企業の経営者などとほぼ同額であることが分かった。また、45～49歳で比較してみると、個人立診療所開設者と勤務医師の「手取り年収」は、ほぼ同じとなっていた。

同常任理事は、個人立診療所開設者は地域における様々な社会的役割を担っているうえに、事業者としてのリスクや負債を抱えながら経営を続けていることを強調。このようなことを考慮に入れば、個人立診療所の開設者の所得が必ずしも高いとは言えないことが今回の調査でも明らかになったのではないかと考えを示した。

開業医の年収、勤務医の1.8倍

診療報酬下げ 政府が検討へ
厚労省が病院や診療所の経営状況を調査した、開業医の給与収入についての初めての調査である「医療経済実態調査」の内容が24日、明らかになった。08年度の診療報酬改定で開業医の初診・再診料などの引き下げを検討する予定。

300床程度の中規模公立病院の勤務医の年収は1427万円。一方医療法人の形態で給料を受け取っている開業医の調査で院長の年収(賞与含む)は2532万円と1.8倍。公立病院の院長の場合は平均年収が1960万円で、開業医の平均より2割以上少ない。日本医師会は「収入には開業時の借金返済や設備投資の積み立てに充てる分も含まれる」として、医業収支を使った収入比較に強く反発していた。政府内では「優遇が明らかな開業医の診療報酬引き下げが先ず必要」との声が大きい。(10/25日経新聞)

診療報酬に成果主義導入 まずリハビリ病棟で

厚労省は医師の医療行為に払う診療報酬に、初めて成果主義を導入する方針を固めた。まず病状回復期のリハビリ病棟への報酬点数を、病状の改善度合いに応じて加減する。11月にも中央社会保険医療協議会(中医協)に具体的な検討を求める。リハビリ病棟への入院患者を減らし、膨張する医療費を抑える狙い。ただ、改善度合いを評価する基準の策定や、誰が評価するかなどを巡って調整が難航する可能性もある。回復期リハビリ病棟では、一般的な病気治療に比べ、回復度合いを測りやすいと見られるため。診療報酬は医療行為ごとに個別に点数が決まっており、病状の改善度合いを反映する仕組みにはなっていない。医療費増に歯止めをかけるため、見直しに乗り出す。ただ年間18億枚ものレセプトを審査する支払基金が回復度合いまで詳細に確認できるか不透明。

プロスタグランジン合成阻害剤によるアレルギー性鼻炎治療剤
アレルギー性鼻炎治療剤
Baynas 錠 50mg 錠 75mg
日本新薬株式会社
東京都中央区京橋2-11-8
バイエル薬品株式会社
東京都中央区京橋3-5-38
©2008年10月現在